

86 みなまた
水俣

(熊本県水俣市)

注目ポイント！

水俣病の教訓を地域の再生に活かし、学びの観光地へ。
市民、行政、企業の取り組みが、観光商品になる。

教育旅行が集客の起爆剤！ 約3,000人から約6,000人へ！
(平成10年) (平成17年)



環境学習プランの実施

コラム

水俣病学習を地域全体の環境へのこだわりを学ぶ環境学習プログラムとして、教育旅行や視察・研修向けに商品化した。これにより「水俣」を応援する人が増加している。



NPO法人水俣教育旅行プランニング
専務理事 吉永 利夫氏

これまでの経緯

- 昭和63年(1988) (財)水俣病センター相思社内に「水俣病歴史考証館」開館。
- 平成2年(1990) 熊本県環境創造みなまた推進事業開始。
- 平成5年(1993) 水俣市立水俣病資料館建設。
- 平成9年(1997) 水俣市長の委嘱により「水俣修学旅行誘致委員会」発足。
- 平成13年(2001) NPO法人水俣教育旅行プランニング設立。
広域的な環境学習プラン及び集客プランの策定。
- 平成14年(2002) 人材育成ガイド研修及びガイドインストラクター研修を開始。
- 平成15年(2003) 環境学習情報交流センター設立・観光物産協会エコみなまた創立。
- 平成17年(2005) 「水俣・芦北教育旅行受入促進協議会」発足。

主な取り組み

資源ゴミの22分別体験学習

水俣市が実施する資源ゴミの22分別を修学旅行生に体験学習商品として提供することにより、教育旅行素材を創造。市民の日常の暮らしを新たな観光素材として組み立てた。



修学旅行生分別体験

環境学習・自然体験学習の拠点作り

不知火海沿岸の人材や地域資源を活かした広域的な自然体験学習プランや観光ルートの開発による集客プランを策定した。

これにより、行政区を超えた女性達のネットワークが生まれ、自主的な交流やイベントが続いている。



自然体験学習

人材育成ガイド研修

教育旅行等の参加者に対して、水俣市民や企業の取組、水俣病問題等を紹介するガイド「地域案内制度」を創設した。参加者の理解を深めることに一役買っている。



ガイド研修

ガイド・インストラクター研修

環境学習プログラムの体制を充実させるため、NPO法人水俣教育旅行プランニングが主体となって、実践的ワークショップを行う等人材育成に努めている。



インストラクター研修

問い合わせ先

水俣市商工観光課

Tel : 0966 - 61 - 1629 <http://minamacity.jp>

NPO法人水俣教育旅行プランニング

Tel : 0966 - 68 - 9450 <http://www.mkplan.org>